

霜を忘れ去るほど楽しかった五高時代に、深く感謝すると共に、同窓諸賢の寛容を希ひ、枉げて一瞥高批の勞を仰ぐことが出来れば、望外の仕合せである。

昭和卅二年三月三日、五十年史起筆の後二十年熊本市北千反畑町の假寓、由己齋に於て

五高創立七十周年記念會委員長

熊本大學教授
文學博士

高 森 良 人

例言七則

- 一、敬語は、皇室だけに止め、關係外の故人の氏名には、すべて敬稱を廢した。
- 二、存命中の舊職員及び卒業者に就いては、能ふかぎり、觸れないことにした。
- 三、同窓の諸學士を目標に、常用漢字並に新假名遣には、全く拘泥しなかつた。
- 四、句讀點の無い引用文には、繙讀理會のため、隨意に「、」を施しておいた。
- 五、誤字及語植は、或は訂正して、(原、某)を加へ、或は「ママ」を附した。
- 六、誤脱と思はれるものには、或は「ママ」を附し、或は(某)を加へておいた。
- 七、挿入の寫眞は、已むを得ざる二三の外は、五十年史所掲との重複を避けた。